



本庁舎は中身の濃いものを

答**町づくりの大きな構想で****問**

西森常晴

本庁舎の位置が検討されているが、他の施設はどうなっているか。

答

町 長

大崎診療所の建て替えが急務だ。診療科や設備、場所の選定、予算の確保など、今後関係者と検討していく。

大崎小の有効活用も、早い時期に検討を始める。基幹集落センター、森林組合の入っている施設は、新庁舎の位置が決定してから具体的な検討に入る。

問

西 森

旧吾川村から、すべての学校が消えていく。大崎地区にできる新庁舎は、意気消沈している町民（特に旧吾川）に夢と希望を与える、中身の濃いものにして欲しい。

答

町 長

学校再編が一定の目途が付いた中で、意欲をもって取り組んでいく。

問

西 森

高知市の重倉に、総合建設コンサルタント相愛の永野社長が、クリーンなエネルギーを使った新たな社屋を作っている。新しい庁舎は固定観念を捨てて、30～100年を見据えた施設を要望する。

答

町 長

住民の利便性を考えながら、町づくりの大きな構想の中で検討していく。

新しい 福祉ゾーンを

問

西 森

新しい大崎診療所を中心とした、福祉ゾーンを作る考えはないか。

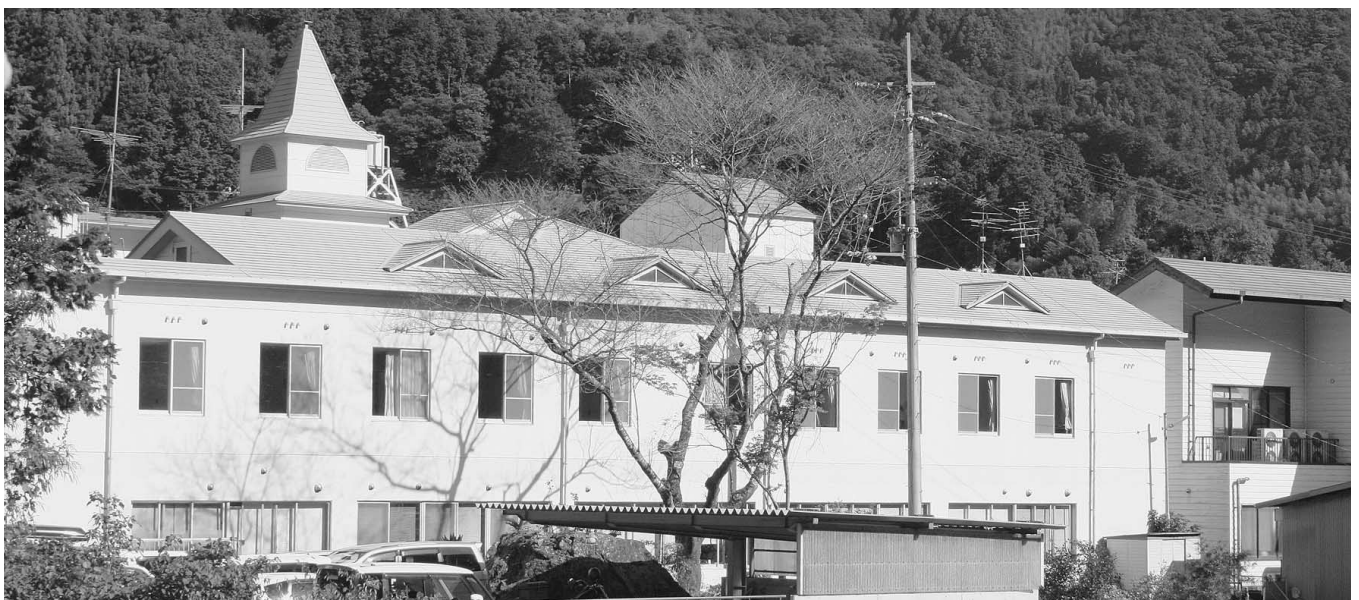
鳥取県智頭町の森の幼稚園、鹿児島県の霧島桜ヶ丘病院は森の中の施設で、老人介護に成果をあげている。

旧仁淀村へ総務・企画課が、旧池川町へ産業建設課が、旧吾川地区に保健福祉課を置き、診療所を中心とした保育、終末を迎える介護施設を一つの森の中に作れないか。

答

町 長

本庁方式の考えは変わらない。



大崎診療所

問

農本規仁

不在地主による固定資産税の滞納は増えていないか。報道番組で廃屋の家主が滞納し、隣家や通行人に迷惑を掛けているため、町が解体費を助成

税の滞納と廃屋の解体は

答

今後検討



し、土地を寄付してもらった。
本町にも見受けられる

が、いざの時、避難路、また通学路にある場合、児童、生徒に危害が及ぶ可能性がある。

今後増加も考えられるが、景観の保持、宅地の有効活用観点でも取り組む必要があるのでは。

税の納付書に現状の写真を入れ、寄付の考えを聞いてみては。

答

町長

町外の納税義務者数1千376人中、滞納者数は72人で額、件数は増えていないが、廃屋の問題は全国的な課題で、風水害、大規模災害など倒壊、飛散など懸念される。

ただ、個人の所有物に對し、町民の税金で助成はどうか。個人の責任において解体してもらうため、調査し呼びかけをしていく。町にとって有益な土地であれば、今後検討もしていく。

問

農本

宅地として若者定住、U・イーターナー者に販売できるが、世代交代が進めば進むほど、住民が地主を知り得なくなる。真剣な取り組みを。

答

町長

解体は、町としても空き家調査をしており、今後どう取り組んでいくか考えていく。



防災訓練（寺村地区）

町職員の配置は
万全か

問

農本

以前中堅職員が、出身地区外へ異動した時、地名を字名で言われても分からず、初期の対応が遅れて申し訳なかったと話していた。

防災計画の組織体制でも、災害対策本部の部長、班長のポストとなり、地元消防団でも重要な幹部となっている職員も多いと思う。

震度6以上で、町全体が深層崩壊の危険地帯である以上、本庁、支所間、また集落間が通行止の時、地名・場所が分かりづらく職員が即戦力となり得るか。

答

町長

まず職員として町内を知ることを基本とし、適正配置に努めている。

大規模災害の時は、まず近い職場へ出向き、庁舎間の連絡調整、情報収集、県との連絡をしてもらい被害の軽減を図ってもらう。現在消防団とも対応を考えている。

問

農本

来期の出馬は

町長選挙まで1年を切ったが、出馬は決断したか。

答

町長

町内全域を対象に懇談会を開き、課題や意見を要望を聞いており、成果を踏まえ残された任期を全力を傾注していく。

3年間の実績も振り返りながら、周りの方とも相談し私なりに熟慮していく。



遊歩道設置を

答

要望していく

問

橋本眞一

今、全国的に仁淀川が注目を浴びている。県外車が多く見られ、アカイセなど川の地名を尋ねる人が多く見られた。

反面「何もない所ですな」など言われる方も多かった。

川辺を散歩する遊歩道もなく、道路より水辺を見るだけ。土居川左岸の親水公園炊事棟上流、ふれあい橋付近まで、水面ギリギリの遊歩道設置はできないか。

夏だけでなく、春や秋にも仁淀川を満喫できるのでは。

県に要望を。

答

町長

土居川を散策するには、数カ所の階段を利用し川に降りるしかなく、水辺に親しむ環境ではない。

階段工と階段工をアクセスし、遊歩道を整備することで「仁淀ブルー」を体験、観光客の増加を見込みたい。

維持管理、安全面など課題はあるが、管理者である県に要望していく。

宝来荘の指導は

問

橋本

宝来荘での食事、宿泊に悪評があるが、町の指導はできているか。

答

町長

指定管理者より計画書の提出も受け、運営も行っていったが、事情により調理、接客に経験不足のメンバーでの運営になり、利用者にご迷惑を掛けた。

町として、従業員の教育や調理経験者の雇用など、利用者に信頼、喜んでいただけるよう指導していく。

町の施設

退去後は

問

橋本

町営住宅、町の施設、活動センターなど、家賃や委託契約を結び利用されているが、退去後に物品、放置車両などあるがどのように処理するか。

答

町長

備品や自動車は所有権があり、退去後も勝手に処分できない。

今回は退去者で所有者が分かっており、車両については今月20日までに移動、ほかの物品は撤去するよう話している。



宝来荘



ふれあい橋より下流



ヘリポートの建設 徹底実行を

答

地元と協議し要望を

問

野村安夫

東日本大震災や他の大災害を踏まえ、地区の孤立を最小限に抑えるため、町道小郷線周辺に2カ所位ヘリポートを建設してほしいが。

答

町長

ヘリポートの整備については救急搬送等立地条件も考慮し、町全体の各要素を選定し、用地等の準備が整った地区から順次設置に取り組んでいる。本町には散在した集落が多く、今後において用地交渉や立地条件、経費等考慮し計画的な準備を図る。

問

野村

フードプランと坪井地区では、一つにするのは難しいと思う。2カ所は是非お願いしたい。

答

吉岡池田総室所長

いい話なので、地権者の了解、農地については農業委員会も関係するので地元と協議し、要望を出してほしい。

問

野村

私なりの具体例として、相の谷の残土処理場跡や、坪井地区にも広い空き地があると思う。

何とか活用の方角に、前向きに前進したいと考えるが。

答

吉岡池田総室所長

要望をまとめて、提出するようお願いする。



相ノ谷（紅ウド）ヘリポートにしたい場所